

小5

◆平安時代◆

下巻4回

氏名

得点

各10点
300点

1	桓武天皇が現在の京都市に移した都を（ ）京という。	
2	桓武天皇が現在の京都市に都を移したのは（ ）年のことである。	
3	桓武天皇の命令を受けて、征夷大將軍として東北地方に出兵し、朝廷に従わない蝦夷と戦った人物は（ ）である。	
4	自分の娘を天皇のきさきとすることで行う政治を（①）政治という。中臣鎌足の子孫である（②）氏がこの政治を行い実権を握った。	① ②
5	3人の娘を天皇の <small>きさき</small> 后にし、「この世をばわが世とぞ思う望月のかけたることもなしと思えば」の歌をよんだ人物は誰か。	
6	問5の貴族の息子で、平等院鳳凰堂を創建させた人物は誰か。	
7	問5～6の親子が政治の実権を握り、貴族の政治の全盛期と言える時期は（ ）世紀前半である。	
8	894年に遣唐使の停止を進言した（ ）という貴族は後に「学問の神様」とされた。	
9	遣唐使の停止以降、唐の文化の影響が少なくなり、日本独自の（ ）文化が栄えた。	
10	「 <small>まな</small> 真名」と言われた漢字をくずしてつくられた文字で、平安時代には主に女性によって使われた文字を（ ）という。	
11	藤原氏の娘・影子に仕えた女性で、長編小説「源氏物語」の作者は誰か。	
12	藤原氏の娘・定子に仕えた女性で、随筆「枕草子」の作者は誰か。	

13	平安時代に紀貫之 <small>きのつらゆき</small> らによって編集された歌集は何か。		
14	大貴族の荘園に与えられた特権は、税を納めなくてもよい(①)の権と、国司の立ち入りを断ることのできる(②)の権である。	①	②
15	地方の政治は乱れ、尾張国の()の藤原元命 <small>もとなが</small> のように農民から訴えられる役人も出てしまった。		
16	地方の政治の乱れとともに武士団が発生するが、代表的なものは桓武(①)と、清和(②)である。	①	②
17	関東地方で935年に反乱を起こし、自ら「新皇」を名乗った武士は()である。		
18	瀬戸内海において939年に反乱を起こした武士は()である。		
19	天皇の位を退いた上皇 <small>じょうこう</small> が、それ以後も政治の実権を握る政治を()という。		
20	上皇 <small>じょうこう</small> による政治を1086年に始めた人物は()である。		
21	上皇と天皇の対立から、1156年に(①)の乱が、1159年には(②)の乱が起こった。	①	②
22	1167年に「武士として初めて太政大臣」になった人物は誰か。		
23	問22の人物が行った中国との貿易を()貿易という。		
24	中国との貿易のために、現在の神戸に()という港がひらかれた。		
25	()という僧は比叡山延暦寺 <small>ひえいざんえんりやくじ</small> で天台宗という仏教の宗派を開いた。		
26	()という僧は高野山金剛峰寺 <small>こうやざんこんごうぶじ</small> で真言宗 <small>しんごんしゅう</small> という仏教の宗派を開いた。		

27	平安貴族の住まいは、長い廊下と中央に池のある（ ）である。	
28	平安貴族の服装は、男性は束帯 <small>そくたい</small> 、女性は（ ）を身につけていた。	
29	浄土教 <small>じょうどきょう</small> の代表建築は、京都の宇治に創建された（ ）である。	
30	浄土教の代表建築は、岩手の平泉に奥州藤原氏によって創建された（ ）である。	

小5

◆平安時代◆

下巻4回

氏名

満点 とれ太

得点

各10点
300点

1	桓武天皇が現在の京都市に移した都を（ ）京という。	平安京
2	桓武天皇が現在の京都市に都を移したのは（ ）年のことである。	794
3	桓武天皇の命令を受けて、征夷大將軍として東北地方に出兵し、朝廷に従わない蝦夷と戦った人物は（ ）である。	さかのうえのたむらまろ 坂上 田村麻呂
4	自分の娘を天皇のきさきとすることで行う政治を（①）政治という。中臣鎌足の子孫である（②）氏がこの政治を行い実権を握った。	① せっかん 摂関 ② 藤原
5	3人の娘を天皇の <small>きさき</small> 后にし、「この世をばわが世とぞ思う望月のかけたることもなしと思えば」の歌をよんだ人物は誰か。	藤原道長
6	問5の貴族の息子で、 <small>びやうどういんほうおうどう</small> 平等院鳳凰堂を創建させた人物は誰か。	ふじわらのよりみち 藤原 頼通
7	問5～6の親子が政治の実権を握り、貴族の政治の全盛期と言える時期は（ ）世紀前半である。	
8	894年に遣唐使の停止を進言した（ ）という貴族は後に「学問の神様」とされた。	すがわらのみちざね 菅原 道真
9	遣唐使の停止以降、唐の文化の影響が少なくなり、日本独自の（ ）文化が栄えた。	国風
10	「 <small>まな</small> 真名」と言われた漢字をくずしてつくられた文字で、平安時代には主に女性によって使われた文字を（ ）という。	かな（仮名）文字
11	藤原氏の娘・影子に仕えた女性で、長編小説「源氏物語」の作者は誰か。	むらさきしきぶ 紫式部
12	藤原氏の娘・定子に仕えた女性で、随筆「枕草子」の作者は誰か。	せいしょうなごん 清少納言

13	平安時代に紀貫之 <small>きのつらゆき</small> らによって編集された歌集は何か。	こきんわ かしゅう 古今和歌集	
14	大貴族の荘園に与えられた特権は、税を納めなくてもよい(①)の権と、国司の立ち入りを断ることのできる(②)の権である。	① 不輸 <small>ふゆ</small>	② 不入
15	地方の政治は乱れ、尾張国の()の藤原元命 <small>もとなが</small> のように農民から訴えられる役人も出てしまった。	国司	
16	地方の政治の乱れとともに武士団が発生するが、代表的なものは桓武(①)と、清和(②)である。	① 平氏	② 源氏
17	関東地方で935年に反乱を起こし、自ら「新皇」を名乗った武士は()である。	たいらのまさかど 平将門	
18	瀬戸内海において939年に反乱を起こした武士は()である。	すみとも 藤原純友	
19	天皇の位を退いた上皇 <small>じょうこう</small> が、それ以後も政治の実権を握る政治を()という。	いんせい 院政	
20	上皇 <small>じょうこう</small> による政治を1086年に始めた人物は()である。	白河上皇	
21	上皇と天皇の対立から、1156年に(①)の乱が、1159年には(②)の乱が起こった。	① 保元 <small>ほうげん</small>	② 平治 <small>へいじ</small>
22	1167年に「武士として初めて太政大臣」になった人物は誰か。	たいらのきよもり 平清盛	
23	問22の人物が行った中国との貿易を()貿易という。	にっそう 日宋	
24	中国との貿易のために、現在の神戸に()という港がひらかれた。	おおわだのとまり 大輪田泊	
25	()という僧は比叡山 <small>ひえいざん</small> 延暦寺で天台宗という仏教の宗派を開いた。	さいちよう 最澄	
26	()という僧は高野山 <small>こうやざん</small> 金剛峰寺 <small>こんごうぶじ</small> で真言宗 <small>しんごんしゅう</small> という仏教の宗派を開いた。	空海	

27	平安貴族の住まいは、長い廊下と中央に池のある（ ）である。	<small>しんでん</small> 寝殿造
28	平安貴族の服装は、男性は束帯 <small>そくたい</small> 、女性は（ ）を身につけていた。	<small>じゅう に ひとえ</small> 十二単
29	浄土教 <small>じょうどきょう</small> の代表建築は、京都の宇治に創建された（ ）である。	<small>びょうどういんほうおうどう</small> 平等院鳳凰堂
30	浄土教の代表建築は、岩手の平泉に奥州藤原氏によって創建された（ ）である。	<small>ちゅうそんじこんじきどう</small> 中尊寺金色堂